

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	*	*
	○	商店街（代表者）	・かなり人の流れが多くなっており、店舗内は退店した物販店や飲食店等の新陳代謝が起こっている。このように、経営者マインドもかなり上がっており、景気も徐々に底を打って上がっていきとみられる。
	○	スーパー（企画担当）	・商品の値上げは続いているが、気候が落ち着いてくれば、売上は増加すると推定される。
	○	コンビニ（商品担当）	・円安が進めば商品価格が高止まりする可能性があるとみられる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・気温は少し秋めいてきたようだが、長期予報によると10月はまだ少し暖かく、11月以降に気温が下がる予報である。今より気温が少し下がれば、売上はそこそこ良くなるとみられる。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先は、我々の店の創業祭があり、年末のお歳暮の時期も近くなってくるため、少し売れるとみられる。
	○	観光型旅館（経営者）	・地元空港直行便の本数が今後も増える方向にあり、インバウンドが国内観光客の増減の振れを補ってトータルで堅調に推移するものとみられる。
	○	タクシー運転手	・2～3か月先の11月、12月は忘年会があるとともに、期中異動した方も落ち着いているため、夜の街は少し人が増えると判断する。現状では、タクシードライバーのボーナス比率を下げた会社もあり、今のところ県内で車両台数が増えることはない。新型コロナウイルス感染症発生前の半分の台数で今の客のニーズに応じていくしかないとみられる。
	○	タクシー運転手	・四国遍路が今年は逆打ちの年で、これからどんどん遍路需要が増えてくるため、街中に出回る台数は少なくなり、それなりに街中での稼働率が高まってくるとみられる。
	○	通信会社（支店長）	・冬商戦期に入るため、需要が喚起され、景気も良くなると想定される。
	○	観光遊園地（主幹）	・9月、10月にかけて、ソウル便と台湾便が増便されるため、インバウンドの増加が見込まれる。
	○	競艇場（マネージャー）	・円高基調による物価の安定も見込まれ、遊興に回せる余裕資金も少しずつ増えていくとみられる。
	○	美容室（経営者）	・11月までは売上は増加しないが、12月は人も動くともみられるため、期待している。
	○	美容室（経営者）	・現状は暇であり、年末に向けて良くなることを期待したい。
	□	商店街（常務理事）	・新政権に移行したが、経済的、財政的な施策に大きな変化はないものとみられており、さらには近い将来、増税が行われるといった臆測も呼んでいることから、これらが払拭されない限り消費環境の好転はないとみられる。
	□	商店街（代表者）	・資源価格の高騰に加えて、人件費・物流費の上昇が続いており、売上における経費の割合が高くなっている。顧客の流れも流動的で薄利多売ともなりにくいとみられる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生以前の状況によりやく戻ってきており、派手な動きはないものの、祝い事商品の予約が入ってきている。
	□	百貨店（マネージャー）	・食品を中心に値上げが想定されている。
	□	スーパー（店長）	・値上げが続いており、消費に影響すると予想される。
	□	スーパー（企画担当）	・物価上昇とともに賃金上昇が生じるなど好循環に転じる気運が必要だとみられる。
□	スーパー（人事）	・米の単価上昇など節約志向が高まる出来事もあったが、節約志向に大きな変化はなかった。今後も余り意識は変わらず推移していくとみられる。	
□	スーパー（財務担当）	・買上点数のマイナスを1品単価の上昇が上回っている。客単価の上昇の伸びが弱まっているものの、この傾向は当面続くとみられる。	
□	コンビニ（店長）	・来客数の減少傾向は、消費の減少もあってまだしばらく続いているとみられており、現状程度でしばらく推移するとみられる。	

	□	コンビニ（総務）	・10月からの商品値上げにより消費の鈍化が見込まれ、来客数の回復はますます望めない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・現状が続き、景気は良くなるとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・物価高のため買い控えがあるが、必要な物は引き続き購入するとみられる。
	□	家電量販店（店員）	・10月からはまた値上げ気運が高まり、購入数が減るとみられる。
	□	家電量販店（副店長）	・物価高の影響により、当面の間は景気回復が期待できない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・販売停止車両の販売再開のめどが立っていない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・販売車種の制限が続いており、厳しい状況が続くとみられる。
	□	乗用車販売店（役員）	・メーカーの今後の生産台数にも大きな変化はない。
	□	その他小売 [ショッピングセンター]（館長）	・最低賃金の大幅な引上げが気掛かりではあるが、それ以外では大きく変動する要因が見当たらない。
	□	都市型ホテル（経営者）	・先行予約の動きが余り良くなく、停滞感がある。
	□	設計事務所（所長）	・相変わらず分譲マンションが建てられているが、価格が高騰しており、実需があるのか不透明な状況がみられる。
	▲	一般小売店 [文具店]（経営者）	・前期の様子をみている限り、今年度は例年と同じではなく、業況は厳しいとみられるが、今月に入り、多少客からの見積依頼が増えてきている。ただし、不安材料としてメーカーからの商品の値上げ、また、輸送コストの上昇などもあり、今後2～3か月先の景気は厳しいとみられる。
	▲	百貨店（販売促進）	・物価高騰に賃金上昇が追い付いていかないと予想される。
	▲	スーパー（店長）	・10月からの大規模な商品値上げにより、消費者が節約志向を強めることが懸念される。
	▲	スーパー（統括担当）	・景気はじわじわと悪くなり、物価は落ち着かないとみられる。
	▲	コンビニ（店長）	・通常来客数が減ると客単価が上昇するが、現状では商品価格が上昇している割に客単価が上昇していない。つまり買えない客は来なくなっており、来店する客も以前より買上点数が減っている。
	▲	旅行代理店（部長）	・旅行代金の単価上昇傾向に加え、物価高騰の影響がみられる。
	×	一般小売店 [酒]（経営者）	・物価上昇、政治不安などにより、生活が良くなる要素がない。
	×	一般レストラン（経営者）	・毎年、10月、11月は閑散期であり来客の機会は減っている。新型コロナウイルス感染症も終息しつつあるが、忘年会等の前倒しも減るとみられており、更に若者の忘年会離れも聞いており、ますます期待できない。
企業 動向 関連  (四国)	◎	食料品製造業（商品統括）	・円高、円安の偏りすぎが解消され、輸出、輸入によるデメリットも解消されつつある。製造業の国内回帰・所得増により景気回復が進んでいくとみられる。
	○	繊維工業（経営者）	・現状がしばらく続くものとみられる。ただし、冠婚葬祭の簡素化によるギフト需要の減少、また、イベント用商品の需要が輸入品に取られており、生産地全体をみると厳しい状況が続いている。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・10月からは、受注が回復するとみられるが、前年と比べて10%程度のダウンが予想される。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・キッチンペーパーは数量を減らし、事実上の値上げを行っていく予定であり、新型コロナウイルス感染症が収束したものの、マスクの需要は増加してきている。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・過疎地域とまではいかない地方に住んでいるが、やはり地方創生に力を入れている。新総裁になったため、必ず地方の景気が良くなると期待している。
	□	食料品製造業（経営者）	・10月からの最低賃金改定により人件費、労務費が増加し、原価高騰、利益率低下が予想される。
	□	化学工業（所長）	・物価上昇と人口減少の影響は続いており、大きな変動はないと推測される。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・引き続き、造船関連の受注は安定しているが、産業用機械は受注案件が少なく回復の兆しはみえていない。

	<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行きの不透明感に加え、地政学的リスクの高まり、物価上昇や人件費を始めとしたコスト増加等もあり、世界経済の下振れが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経理）	・相変わらずの物価高、円安基調、円の金利上昇等の経済環境の傾向が変わっていない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・金利問題、社会情勢、物価問題等を総合的にみれば、景気は良くならないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・年末にかけて工事発注の見通しが悪い。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・新首相が誰になるかなどの政治の動きに伴う景気の変化が気になっている。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（総務担当）	・フードバンクへ寄贈を行ったが、寄贈される量が、希望する量に追いついていないと聞いており、地方の景気の底上げにはつながっていないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・年末に向けた大きな動きは聞いていないが、視聴率に準じたCMの発注があるのではないかと期待している。
	<input type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	・景気が大きく変化する要因がないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・製造業や建築業等の人手不足に伴う採用関連は増えているが、物価高騰の影響による消費低迷により小売流通関連の販売促進広告費が削減傾向である。したがって、全体としては余り変わらないと予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（職員）	・猛暑によりエアコンの使用頻度が例年より高く、7月から9月の電気使用量は多くの家庭で増加している。また、日用品等の値上げは続いており、賃金が上がらないなかで家計収支は悪化しており、消費者の財布のひもは固さが増している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	税理士事務所	・物価上昇が止まっていないとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（経営者）	・年末年始のアルバイト募集の増加が予想される。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務部長）	・求職者数が急激に増えるとはみられない。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・求人に関しては、企業側の求人要件と求職者側のニーズや要件が合わず、マッチングに至らない状況にあり、改善の見込みがない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・今後の為替が円高、円安のどちらに傾いても産業の業態によって明暗が分かれることや最低賃金額の大幅な引上げについても、企業規模や人手不足の状況により影響に差が出るとみられており、全体の景況としては不透明な状況が続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（所長）	・新卒求人の動きに変化はみられず、短期で状況が変化する要因は見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・人手不足は構造的な要因が大きいとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・10月から価格が上がるものが更に多くなり、個人消費が更に目減りするとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—